

○財政の状況

地方自治はよく「3割自治」と言われます。これは、自分の町で賄える財源（お金）が3割程度しかないという意味です。これが本町は2割程度であり、8割は国や県などからの補助金・交付金などへ依存するという厳しい状況にあります。

今、国や県においても、大きな財政改革が進められており、国から地方への補助金・交付金なども大きく削減されています。特に国から交付される普通交付税はここ5年間で約13億円も減少しました。

つまり、入ってくるお金が減るといふことであり、使うお金を減らしていく必要があります。

【歳出の主な事業】

○議会費

1億7,035万2千円
議員報酬、議会運営費など

○総務費

15億6,317万4千円
庁舎管理費、情報システム管理費、統計事務費、地籍調査事業、行政連絡事務費など

○民生費

30億3,810万円
保育所運営費、介護保険対策費、老人保健医療給付事務管理費、国民健康保険管理費など

○衛生費

9億2,888万5千円
し尿処理管理費、ごみ処理管理費、簡易水道費、老人保健事業（各種検診）など

○農林水産業費

13億1,616万8千円
中山間地域等直接支払い事業、元気な地域づくり交付金事業、林業・木材産業構造改革事業など

○商工費

1億2,848万6千円
商工振興事務費、中小企業振興資金融資事業、物産観光推進事業など

○土木費

19億8,264万7千円
道路新設改良事業、住宅団地建替事業、道路維持費、公園管理費など

○消防費

4億4,022万2千円
消防団費、消防施設費、防災無線費など

○教育費

11億5,154万3千円
小学校管理費、中学校管理費、自治活動推進事業など

○公債費

30億8,879万9千円
平成18年度償還予定の元金及び利子

○その他











462万4千円
災害復旧事業、予備費

特別会計の予算規模（単位：千円）

特別会計名	当初予算規模
国民健康保険事業	2,805,403
老人保健医療	5,057,687
介護保険事業	2,430,693
介護サービス事業	13,987
町立診療所	145,432
農業集落排水事業	59,436
水道事業会計（支出総額）	131,253
簡易水道事業会計（支出総額）	375,920

義務的経費 80億235万4千円 (57.9%)	人件費	34億2,044万5千円 (24.8%)
	公債費	30億8,879万9千円 (22.4%)
	扶助費	14億9,311万円 (10.8%)
投資的経費 23億9,247万3千円 (17.3%)	普通建設事業費災害復旧事業 23億9,247万3千円 (17.3%)	
	物件費	14億4,620万4千円 (10.5%)
その他経費 34億1,817万3千円 (24.7%)	補助費等	6億4,048万3千円 (4.6%)
	繰出金	11億6,054万2千円 (8.4%)
	その他	1億7,094万4千円 (1.2%)

○町民一人当たりの歳出（支出） 53万7千円

<p>公債費</p>  <p>12万円</p>	<p>民生費</p>  <p>11万8千円</p>	<p>土木費</p>  <p>7万7千円</p>	<p>総務費</p>  <p>6万1千円</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>5万1千円</p>
<p>教育費</p>  <p>4万5千円</p>	<p>衛生費</p>  <p>3万6千円</p>	<p>消防費</p>  <p>1万7千円</p>	<p>議会費</p>  <p>7千円</p>	<p>商工費</p>  <p>5千円</p>